

## 「今に生きる言葉」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 故事成語とは、どのような言葉のことか、次の文の空欄（ア）～（ウ）に当てはまる言葉を教科書の本文から書き抜きなさい。

故事成語とは、（ア）や古くから伝わる例え話、（イ）など、（ウ）を背景にもっている言葉である。

【ア】

【イ】

【ウ】

問2 【ア】「推敲」・【イ】「蛇足」・【ウ】「四面楚歌」について、この言葉の意味として適切なものを次のカ～サの中からそれぞれ選びなさい。

カ：目的を達成するために、苦しい思いをしてでも自分をきたえること

キ：必要がなく、かえって全てを台無しにしてしまうこと

ク：最後の大切な仕上げのこと

ケ：いいかげんなこと

コ：周りが全て敵になる状態のこと

サ：文章などの内容をもっと良くするために字句を練り直すこと

【ア】

【イ】

【ウ】



問3 次の言葉の口語訳を教科書の本文より書き抜いて答えなさい。

- 【ア】鬻ぐ           :
- 【イ】いはく       :
- 【ウ】利なる       :
- 【エ】陥す          :
- 【オ】子            :
- 【カ】いかん       :
- 【キ】応ふる       :
- 【ク】あたはざる  :

問4 教科書の口語訳にある「つき通せないものはない」という言葉に対応する書き下し文の言葉を抜き出して答えなさい。

問5 口語訳にある「あなたの矛で、あなたの盾をつき通すとどうなるのか」について答えられなかった「その人」とは誰のことか、書き下し文の中から8字で抜き出して答えなさい。

問6 書き下し文の「陥さざるなきなり」とはどういうことか、次の中から適切なものを選び○で囲みなさい。

- ア:突き通すことができない
- イ:突き通すことはない
- ウ:必ず突き通す
- エ:必ず突き通さない

問7 「矛盾」という故事成語がもつ意味を、簡潔に答えなさい。



問8 「矛盾」という故事成語が、問7のような意味を持つようになったのは故事のどんな点からか、次の中から適切なものを選び○で囲みなさい。

- ア: 矛と盾を売る人が、「矛で盾を突き通したらどうなるのか」答えることができなかったから
- イ: 矛と盾を売る人が、矛と盾のすばらしいところを大げさに言っていたから
- ウ: 矛と盾を売る人が、矛と盾のすばらしさを伝えようとしたものの、それぞれの内容の辻褃が合わなかったから
- エ: 矛と盾を売る人が、どんなに矛と盾のすばらしさを伝えても、全く売れることがなかったから

問9 矛と盾を売る人は、「矛で盾を突き通したらどうなるのか」という問いに答えられなかったのはどうしてか、次の中から適切なものを選び○で囲みなさい。

- ア: よくよく考えたら、一体どうなるのか想像ができなかったから
- イ: せっかく矛と盾のすばらしさを伝えたのに、おかしなことを聞かれて腹を立てたから
- ウ: 自分の言っていたことは辻褃が合わないことに気がついたから
- エ: こんなに簡単なことを聞くなんて、この人には答えても無駄だと思ったから



## 「今に生きる言葉」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 【ア】歴史的な事実  
【イ】エピソード  
【ウ】故事

問2 【ア】推敲：サ  
【イ】蛇足：キ  
【ウ】四面楚歌：コ

問3 【ア】売る  
【イ】いった  
【ウ】鋭い  
【エ】つき通せる  
【オ】あなた  
【カ】どうなるのかね  
【キ】答える  
【ク】できなかった（のである）

問4 陥さざるなきなり  
【解説】書き下し文とは、漢字仮名交じり文に直したもののこと。  
口語訳は、今の日本で、普通に会話として使われる言葉に直した文のこと。

問5 盾と矛とを鬻ぐ者

問6 ウ



問7 (例) 辻褄が合わないこと

【解説】他にも「前に言ったことと、あとに言ったことが一致しない」など

問8 ウ

【解説】ア・イも故事の内容と合っているが、「矛盾」がもつ「辻褄が合わない」という意味のもとになったポイントを選ぶので、ウが適切である。

問9 ウ

